

連研通信

十勝組研修部

2010/9/10

二〇一〇(平成二十二年)六月二六日、
十勝組、第八期「連研」の第十四回が、
帯広別院を会場に開催されました。

開会式は本堂で『正信偈』と六首引和



讃をいただきました。話し合い法座
た。話し合い法座
の前の「問題提起」
では皆さんからい
ろいろな質問があ
りました。おつと
めに関する質問が
多かったように思
います。

を振り返り、「お寺を活性化するにはど

話し合い法座で
は、今までの連研

うすれば良いのか？」を
テーマに話し合いが行
われました。

閉会式では、皆さんに、



脇谷研修部長から
修了証が手渡され
ました。修了者は
四十六名でした。

また、中央研修
への参加が奨励さ
れました。来年度
からは年齢制限が
なくなるそうです。
「先生」役の僧
侶スタッフも皆さ
んとともに多くの
ことを学ばせてい

ただいた今回の「れんけん」は終了しま
した。本当にお疲れさまでした。学びも
実践もこれからが本番です。今後も、と

もに学んで参りましょう。(石)
※アンケート結果を掲載します。

【Q1】 約二年間で十四回という回数
は？】 多い・四 少ない・〇 ちよう
どよい・三〇 その他・〇

【Q2】 一回につき約三時間半という
日程は？】 多い・二 少ない・〇 ち

ようどよい・三十二 その他・〇

【Q3】 帯広別院という会場は？】 遠
い・二 ちようどよい・三〇 他の寺院
がよい・〇



その他・二
「私のと
ころから
は遠いが、
十勝の中
心なので
良いと思
う」「帯広
は中心で

あり、西別院（で良い）」

【Q 4 もっと増やして欲しいのは?】



作法やおつ
とめ・一八
話し合い・八
まとめの講
義・四 質
疑・四 その
他・二「別
ない」「法典の
解釈」（未記
入・一名）

は戸惑った・十八 よかった・十六 重

要だと思う・七 必要ない・一（未記

入・一名）感想・「それぞれの育った家
庭の特色があり、話し合いは良いと思
う」「他（の人）の話で、勉強になりま
した」「テーマにそって話し合いが出来
ているのか疑問のこともありましたが、
いろいろな考えを聞くことができました、
た」「自分の意見をうまく発表できず、
困りました」

【Q 5 十四回の中でもっと時間をか

けて聞きたかったテーマは?】 「ちよ

うどよい」二名 「作法・おつとめの練

習」四名 「なぜお仏壇にお参りする

の?」「私にとって宗教とは」「各宗教と

仏教・浄土真宗」「自分が休んだ日もある

るので……」（未記入・二十四名）

【Q 6 話し合い法座について】 最初

な人と交流ができて良かった」

【Q 7 次の連研に知人を誘いたいと思



思いますか?】
必ず誘う・〇
誘いたい・二十五
誘わない・三
（未記入・二名）
その他・三「出来
れば誘いたい」
「知人がいない
ので……」「個人
的に他の人に勧
めることが苦手」

めることが苦手」

【Q 8 各回の講師は皆さんの思いや

話し合いに対応していましたか?】

していた・二十五 していない・一

どちらともいえない・四 その他・二

「時間が少ない」「していた人といない

人がいた」（未記入・二名）

【Q 9 京都での中央教修に参加して



うように話がでしなかつた」「いろいろ

困りました」
「いろいろな
意見を聞き、
自分自身のこ
とであると気
付かされまし
た」「最初は人
前で話すのが
苦手でした」
「皆の中で思

みたいですか？」 必ず参加する・一
参加してみたい・八 参加したくない・
八 どちらとも言えない・十六

【Q10 連研が終わって、自分自身が
何か変わった点や気付いた点、感激した
点や、全体を通しての感想があればお書
きください。】(未記入・十四)「いろいろ



な勉強はしたも
のの身に付いた
ことは何？ 参
加はしていても
よくわかってい
ないのは自分の
学習力の不足か
な？ でも質問
などで理解され
ることも多くあ
ったと思いま
す。「たくさん
お方に出遇えた

ことがとても嬉しいです。連研は素晴ら
しかったです。「毎日の生活の中での疑
問を学び、再認識しました。宗教生活に
いそしみます。自分の往く道を次世代の
子どもにしっかり伝えて守って行って
ほしいと願っています。」「今まで気付か
なかったこと、知らなかったことが如何
に多いことかと思った。」「仲間がいるこ
とに気付かせていただきました。和気



藹々の中、楽し
く学ばせてい
ただきました。
ご講師の先生
方ありがとうございます
ございました
た。「大変勉強
になりました。
お世話になり

ました。特にお経の読み方は勉強になり
ました。終わっても毎朝あげることが出



来ます。発表も人前
で話せます。まとめ
もできるようになり
ました。「浄土真宗
についていろいろ勉
強をさせていただい
て、奥が深いと感じ

ました。これからは寺の行事に出席しな
がら、この研修で学んだことを通して阿
弥陀如愛に御恩報謝をして生活をして
いきたい。これからも学ぶことが多いと
思います。有難うございました。「少し
きっかけが出来た(自分のお寺に対し
て)ように思います
もっと勉強しなけ
ればと思いまし
た。「自分を見つめ
ることができた。」「
お寺についてい
ろいろ作法やお経





の読み方もおぼえられて良かった。「良かったと思います。「浄土真宗はどんな宗派なのか、今まで分らなかったこと、間違つて考えていたこ

とが少し分かった。「最初は何が何だかわからず始まったが、回を重ねることで皆同じ立場で勉強していることに気がき、一緒に話しているうちに馴染みました。知らなかったことがたくさんあり、勉強になりました。とても良かったと思います。人の話を聞く、人の立場に立つてものを考えることに気付かされ、友だちにも伝え、子や孫にも伝えたいと思います。「初めは連研とは何かと思いました。参加させて頂き、本当に良かったと思います。今まで学んだことをこれから

の人生に(十)にしていきたいと思ひます。脇谷部長さん、スタッフの皆さまに大変お世話になりました。「第一回目から仏教に対して奥深いものがあり、勉強したいという気持ちでした。いろいろなことを知る上で自分が生きていくために心強い部分があり、胸を張つて歩んでゆける勇気が湧いてきました。「差別の話し合い法座の時は、自身、反省することがありました。「常に感謝を持って日々を送るようになった。「スタッフの皆さま、本当にご苦労



に参加したいと思ひます。これは自分自身のためであると思ひます。子どもたちにも伝えていきたいと思ひます。「生きることに ついて深く考えてみる ことが出来ました。お仏壇に手を合わすことを毎日続けるよ



さまでした。連研に参加していろいろな話し合いができてとても勉強になりました。二年間ありがとうございました。うございました。「一回でも多くお寺

阿弥陀如来の本願に、救いへの感謝と喜びで報恩謝徳につとめさせていただきます。ありがとうございます。た。」「



た。」「(了)